平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名　天馬株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7958　URL　http://www.tenmacorp.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 吉田　長幸
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役常務執行役員　(氏名) 堀　隆義　TEL 03-3598-5515

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日　配当支払開始予定日　平成24年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未四捨五入)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	29,767	8.7	1,428	56.1	1,641	49.9	△738	―
24年3月期第2四半期	27,376	6.0	915	133.1	1,095	131.9	536	―

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　176百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△1,096百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△27.25	―
24年3月期第2四半期	19.43	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	68,799	56,490	82.1	2,084.62
24年3月期	67,525	56,585	83.8	2,088.11

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　56,490百万円　24年3月期　56,585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	10.00	―	10.00	20.00
25年3月期	―	15.00			
25年3月期(予想)			―	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	2.6	2,700	12.9	3,000	13.5	600	△67.0	22.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 有
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	29,813,026 株	24年3月期	29,813,026 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,714,700 株	24年3月期	2,714,507 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	27,098,354 株	24年3月期2Q	27,577,473 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期の連結業績予想に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 ……11
（５）セグメント情報等 ……11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）におけるわが国経済は、震災復興需要やエコカー補助金等を背景にして、一部に緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、欧州債務危機に伴う世界経済の減速、円高の長期化、日中関係の悪化、電力供給の制約等から、先行き不透明な状況となりました。

このような厳しい状況の中、当社グループの連結業績は、前年同期に東日本大震災によるサプライチェーン寸断の影響で一時的に減少した工業品合成樹脂製品分野の受注が、復旧に伴い増加したこと、ハウスウエア合成樹脂製品分野が新製品やカラー企画製品を中心に引き続き順調に推移したこと等により、売上高が増加しました。

この結果、売上高は297億67百万円（前年同期比108.7%）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加、原価・経費の削減効果等により営業利益が14億28百万円（前年同期比156.1%）となり、経常利益は前年同期との比較では為替差益に転じたこと等により16億41百万円（前年同期比149.9%）となりました。

また、弘前工場建設に係る補助金収入等の特別利益がありましたが、投資有価証券評価損や固定資産圧縮損等の特別損失があり、７億38百万円の四半期純損失（前年同期は５億36百万円の利益）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（日本）

前年同期は東日本大震災によるサプライチェーン寸断の影響を受け、工業品合成樹脂製品が受注急減に見舞われましたが、その後、自動車メーカーや電機電子メーカーの生産体制復旧を背景に、車両や電機電子を中心に工業品合成樹脂製品分野の売上高が増加しました。

また、ハウスウエア合成樹脂製品分野につきましても、フィッツプラスシリーズを始めとする大型収納ケース等の新製品やカラー企画製品を中心に、売上高が引き続き順調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、111億63百万円（前年同期比102.1%）となり、セグメント利益（営業利益）は10億１百万円（前年同期比128.0%）となりました。

（中国）

前年同期は東日本大震災によるサプライチェーン寸断の影響を受け、地域内のグループ各社は工業品合成樹脂製品の受注急減に見舞われましたが、一時的な落ち込みに止まり、その後、受注が回復に向かい、業績は改善傾向にあります。

この結果、当セグメントの売上高は、92億93百万円（前年同期比116.8%）となり、セグメント利益（営業利益）は３億60百万円（前年同期比153.9%）となりました。

（東南アジア）

世界的な不況からの回復と東南アジア諸国の堅調な内需に支えられ、工業品合成樹脂製品の受注が増加し、地域内のグループ各社の業績は若干のバラつきはありますが、総じて改善傾向にあります。

この結果、当セグメントの売上高は、93億11百万円（前年同期比109.8%）となり、セグメント利益（営業利益）は５億35百万円（前年同期比165.2%）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて12億75百万円増加し、687億99百万円となりました。これは、時価の下落で投資有価証券が13億31百万円、受取手形及び売掛金が６億６百万円、それぞれ減少しましたが、現金及び預金が16億14百万円、建物及び構築物が５億49百万円、それぞれ増加したこと等によります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて13億70百万円増加し、123億９百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が３億53百万円、未払金等の増加によりその他流動負債が８億80百万円、それぞれ増加したこと等によります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて95百万円減少し、564億90百万円となりました。これは、投資有価証券評価損を特別損失に計上したことに伴い、その他有価証券評価差額金が７億54百万円増加し、利益剰余金が10億９百万円減少したこと等によります。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて６億75百万円増加し、91億30百万円（前年同期比は19億94百万円の増加）となりました。

各活動別のキャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失５億７百万円等がありましたが、売上債権の減少10億93百万円に加え、非現金支出項目である投資有価証券評価損20億82百万円及び減価償却費12億43百万円等があり、32億71百万円の増加（前年同期比は27億６百万円の増加）となりました。

（投資活動よるキャッシュ・フロー）

定期預金の払戻152億63百万円等の収入がありましたが、定期預金の預入162億円、有形固定資産の取得16億83百万円等の支出があり、23億61百万円の減少（前年同期比は６億73百万円の減少）となりました。

（財務活動よるキャッシュ・フロー）

配当金２億71百万円等の支出があり、２億71百万円の減少（前年同期比は６百万円の増加）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年５月11日に公表しました業績予想を修正いたしました。詳細は本日（平成24年11月９日）別途公表いたしました「平成25年３月期　第２四半期連結累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

① 税金費用の計算

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,216,389	22,830,163
受取手形及び売掛金	12,141,069	11,535,217
商品及び製品	1,828,663	1,961,887
仕掛品	276,862	323,670
原材料及び貯蔵品	2,932,287	3,032,108
繰延税金資産	222,241	226,347
その他	1,333,633	1,672,846
貸倒引当金	△10,088	△8,099
流動資産合計	39,941,057	41,574,140
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,419,329	6,968,165
機械装置及び運搬具（純額）	7,520,808	7,924,843
その他	3,270,468	3,047,110
有形固定資産合計	17,210,605	17,940,117
無形固定資産	2,338,614	2,319,786
投資その他の資産		
投資有価証券	7,324,353	5,993,080
繰延税金資産	330,191	402,494
その他	390,638	580,406
貸倒引当金	△10,840	△10,840
投資その他の資産合計	8,034,341	6,965,140
固定資産合計	27,583,560	27,225,044
資産合計	67,524,617	68,799,184
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,970,565	7,323,775
未払法人税等	177,228	268,282
賞与引当金	505,077	535,739
その他	2,544,371	3,424,751
流動負債合計	10,197,242	11,552,547
固定負債		
退職給付引当金	62,666	73,196
役員退職慰労引当金	600,987	616,528
資産除去債務	9,864	10,645
繰延税金負債	61,140	44,866
その他	7,800	11,472
固定負債合計	742,457	756,708
負債合計	10,939,699	12,309,255

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	18,924,500	18,924,500
利益剰余金	27,880,203	26,870,747
自己株式	△3,496,058	△3,496,235
株主資本合計	62,533,995	61,524,362
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,872,293	△1,118,255
為替換算調整勘定	△4,076,964	△3,916,364
その他の包括利益累計額合計	△5,949,257	△5,034,618
少数株主持分	180	187
純資産合計	56,584,918	56,489,930
負債純資産合計	67,524,617	68,799,184

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	27,376,445	29,766,693
売上原価	22,754,282	24,575,387
売上総利益	4,622,163	5,191,306
販売費及び一般管理費	3,707,341	3,763,226
営業利益	914,821	1,428,079
営業外収益		
受取利息	65,737	66,393
受取配当金	178,285	119,876
為替差益	－	54,832
その他	74,875	61,755
営業外収益合計	318,897	302,856
営業外費用		
売上割引	34,207	33,966
開業費償却	13,877	43,769
為替差損	74,523	－
その他	16,561	12,232
営業外費用合計	139,167	89,967
経常利益	1,094,551	1,640,968
特別利益		
固定資産売却益	11,607	10,202
投資有価証券売却益	5,736	－
補助金収入	－	173,622
その他	808	－
特別利益合計	18,151	183,824
特別損失		
固定資産売却損	13,444	14,013
固定資産除却損	1,485	3,207
固定資産圧縮損	－	142,927
投資有価証券評価損	－	2,082,498
減損損失	26,000	70,400
特別退職金	95,404	－
災害による損失	109,345	－
その他	73	18,358
特別損失合計	245,750	2,331,403
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	866,952	△506,612
法人税等	331,201	231,848
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	535,751	△738,460
少数株主利益	2	11
四半期純利益又は四半期純損失（△）	535,749	△738,471

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	535,751	△738,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,415,026	754,038
為替換算調整勘定	△217,153	160,596
その他の包括利益合計	△1,632,178	914,634
四半期包括利益	△1,096,427	176,174
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,096,435	176,168
少数株主に係る四半期包括利益	8	6

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	866,952	△506,612
減価償却費	1,264,324	1,242,879
賞与引当金の増減額（△は減少）	△260	27,848
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△566	△2,162
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△94,178	10,356
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	5,081	15,541
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△48,673	－
前払年金費用の増減額（△は増加）	－	△120,660
受取利息及び受取配当金	△244,022	△186,270
補助金収入	－	△173,622
為替差損益（△は益）	5,929	△42,054
固定資産除却損	1,485	3,207
固定資産圧縮損	－	142,927
有形固定資産売却損益（△は益）	1,837	3,811
投資有価証券評価損益（△は益）	－	2,082,498
投資有価証券売却損益（△は益）	△11,400	△2,547
減損損失	26,000	70,400
売上債権の増減額（△は増加）	△1,294,130	1,092,711
たな卸資産の増減額（△は増加）	△271,464	△254,165
仕入債務の増減額（△は減少）	159,739	85,773
その他	△113,682	△291,487
小計	252,972	3,198,372
利息及び配当金の受取額	249,483	188,513
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	62,846	△115,908
営業活動によるキャッシュ・フロー	565,302	3,270,977
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△17,301,371	△16,200,000
定期預金の払戻による収入	16,382,420	15,262,950
有形固定資産の取得による支出	△1,053,180	△1,682,636
有形固定資産の売却による収入	165,181	33,917
無形固定資産の取得による支出	△11,165	△17,674
投資有価証券の取得による支出	△1,041	△1,144
投資有価証券の売却による収入	28,271	6,505
貸付けによる支出	－	△25
貸付金の回収による収入	264	164
補助金による収入	－	173,622
その他	101,755	62,940
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,688,865	△2,361,383

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額（△は増加）	△60	△175
配当金の支払額	△277,483	△271,120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△277,542	△271,295
現金及び現金同等物に係る換算差額	△171,708	37,075
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,572,813	675,374
現金及び現金同等物の期首残高	8,709,077	8,454,789
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,136,264	9,130,163

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

前第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	10,936,945	7,957,845	8,481,655	27,376,445
セグメント間の内部売上高又は振替高	95,592	13,436	―	109,028
計	11,032,537	7,971,281	8,481,655	27,485,473
セグメント利益	781,573	234,024	323,602	1,339,199

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,339,199
セグメント間取引消去	3,598
全社費用(注)	△427,975
四半期連結損益計算書の営業利益	914,821

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,163,349	9,292,784	9,310,559	29,766,693
セグメント間の内部売上高又は振替高	87,434	33,270	―	120,704
計	11,250,783	9,326,054	9,310,559	29,887,396
セグメント利益	1,000,544	360,219	534,542	1,895,305

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,895,305
セグメント間取引消去	1,275
全社費用(注)	△468,501
四半期連結損益計算書の営業利益	1,428,079

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

全社資産である遊休土地について減損損失70,400千円を計上しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。